

「第2次三次市教育ビジョン みよし結芽人～幸輝心～（案）」に関するご意見とそれに対する三次市教育委員会の考え方

令和4年3月23日

部署名：文化と学びの課

「第2次三次市教育ビジョン みよし結芽人～幸輝心～（案）」について、令和4年2月10日から3月2日まで三次市のホームページ等を通じてご意見を募集したところ、4通（延べ13件）のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見と、それらに対する三次市の考え方について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告します。

今回、ご意見をお寄せいただきました方々のご協力に厚く御礼申し上げます。

番号	ご意見の内容	三次市教育委員会の考え方
1	ア 「学習」という言葉も使われていますが、「教育を受ける学校（教育委員会）側への、教育を受ける側での個別対応の姿」として捉えられているようです。こう教えるからこう学習したらどうか、このように学習させたいからこういう機会を与える、という旧来の「押し付け型の教育」理念が増幅されて伝わってきます。最も大切にすべきである、「意欲の醸成」という視点が欠落しています。	ビジョンのスローガンにおいて、「自らが芽のように伸び、他者とつながりながら課題へ主体的に関わろうとするひと」になることや、「好奇心を持ちつつ学び続けるひと」をめざすことを表現しています。
	イ 教育の対象者を「こども」扱いすることから抜け出していないから、現在の大人へは生涯学習という言葉だけが提供されていて、その学習を促す場面形成への取り組みには触れる事ができていません。毎日の生活の厳しさに追われている人からは、美辞麗句を並べて言葉遊びに耽って勝手に夢見ている人々の、「現実離れした言葉」としか受け取られないのではないかと恐れます。教育現場限定ではビジョンとしてダメなのです。	生涯学習の基礎を築く上で、子ども時代に自ら学ぶことの必要性を認識できているかは重要です。本ビジョンは子どもの教育のみに傾倒しているわけではなく、すべての礎を築くものであると考えるからこそ、そこに重点を置いた案としています。

番号	ご意見の内容	三次市教育委員会の考え方
ウ	<p>申し訳程度に ICT 等にも触れられていますが、教育に効果的に活用する道具としてしか扱われておらず、それらをこれからの教育現場に導入することが、何に変化をもたらして、従来に無かった新規の効果をどのように発揮できるのか、実現させるのかが見えません。</p>	<p>ICT を学習方法や教材として積極的に活用し、児童生徒一人一人に最適で効果的な学びを実現していきます。また、ICT を効果的に活用することで、教職員が子どもたちと向き合う時間を増やしています。</p>
1 エ	<p>ビジョンというからには、「これからの三次市がおかれる状況」への的確な把握と、「だからどうする」という納得できる道筋が描かれるべきでしょう。具体的には、三次市の産業の将来展開が示されて、そこに意欲的に参加したい人が備えていて欲しい技能が例示されて、その技能を身につけるために望ましい学習分野や手法が示されて、それへの「意欲を掻き立てる」選択肢の数々が見えてくる、そんなビジョンが欲しいところです。</p>	<p>第2次三次市教育ビジョンは、上位計画である、「第2次三次市総合計画」や「第2次三次市教育大綱」に準じて策定しているもので、持続可能な三次を目指し、今の子どもたちが社会の中心となるであろう、10年後、20年後を見据えたひとつづくりを進めていく方向性を示したものです。その政策を具体的に取り組む内容として、基本理念に基づき、大きく3つの基本目標を掲げてそれぞれの具体的な取組を示しています。</p>
オ	<p>教育委員会の取りまとめとして、当然のように「教育」に特化した、とても残念ですが、こぢんまりとしたまとめになっています。</p> <p>全体としてどの項目も短期個別で、教育者側にとっての対応の羅列になっているのが大いに残念です。</p> <p>根本的に改めて、多くの市民が「使いたくなるビジョン」に組み替えた方が良いと思います。</p>	<p>教育ビジョンは、持続可能な三次を目指し、今の子どもたちが社会の中心となるであろう、10年後、20年後を見据えたひとつづくりを進めていく方向性を示したものです。</p> <p>具体的な施策は、状況に応じて修正等を行いながら、変化する社会情勢に弾力的に対応していきます。</p>
2 ア	<p>コミュニティ・スクールの取り組みに注目しています。</p> <p>各校に取り組みが任されているものと思いますが、広報誌やピオネットでも広報して欲しいです。具体的に進んでいる学校が紹介されれば、最寄りの学校の動向に注目が集まるのではないかと思います。</p>	<p>令和4年度から三次中学校区で開始し、その他の中学校区でも、準備が整い次第、順次コミュニティ・スクールの導入していきます。これまで三次市広報等で紹介しておりますが、令和4年度には、さらにピオネットでも紹介する等、市民の皆様に周知をしていきます。</p>

番号	ご意見の内容	三次市教育委員会の考え方
	<p>急激に変化する社会や労働市場へしなやかに対応できる資質・能力を育てることが重要と分析されていますが、グローバル化への視点が少し足りない様に感じられます（文中では「DX」に言及しているのみ）。今後はこれまでに増して「国際的な視野」を持つことが重要であり、児童生徒達が発達段階に応じてそれに必要な力を付けていけるように「三次市」の「強み」を最大限に活かした「三次市でしか展開できない教育活動を」行うことが大切な「教育理念」となるのではないかと思います。</p>	<p>グローバル社会の中で、未来を創造する力を育む教育の推進は大切だと捉えています。</p> <p>人とかかわり合う様々な場面を通じて、自分とは異なる他者の個性やものの考え方などを認めて相互理解を深め、課題解決する力の育成をめざします。</p> <p>また、外国語教育や国際理解教育の推進により、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成したり、他国の文化や伝統を学ぶことで、グローバル・マインドや豊かな感性を養います。</p> <p>ご意見は今後の参考にします。</p>
3	<p>「6 政策の推進」の表中の、政策1および2にある「学び」と、政策6にある「学び」は、同じ言葉でも内容や意味合いが違っていると理解します。この表の意味を深く伝えるためには、表記を変える（例えば、「」付にする。または、ひらがな表記「まなぶ」にする等の工夫をされたら良いのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>	<p>学校教育における「学び」と、生涯教育における「学び」について、特に差異を付けておりません。</p> <p>学校教育では「一人ひとりの子どもの関心や学習進度に応じて、主体的な学びを実現」、生涯教育では「生涯にわたって学び続ける」のように文脈の中で理解していただけるように工夫をしています。</p>
	<p>文書中に「子ども」、「一人ひとり」という表記があります。広島県の教育大綱（令和3年2月）を見ると、「子供」、「一人一人」と表記されています。三次市が異なる意味をもって「子ども」、「一人ひとり」と表記されているのであれば、その思いを注釈等に書かれたら良いと思います。特に意味がないのであれば、広島県の教育大綱の表記に準じられると関連性が分かりやすいと思います。</p>	<p>「子ども」「一人ひとり」の表記については、三次市教育ビジョンの上位計画でもある「三次市総合計画」や「三次市教育大綱」と統一した表記としています。</p>

番号	ご意見の内容	三次市教育委員会の考え方
	<p>それぞれの政策は良いものだと思います。</p> <p>それらを目指すための具体的なアクションについて、子どもを育てるものとして三次市教育委員会のみなさんと共に考える機会があるとうれしいです。</p>	<p>趣旨にご賛同いただきありがとうございます。ご意見は今後の参考にします。</p> <p>また、事業等へのご意見は随時事務局においても受け付けています。</p>
4	<p>私はディベートをすることで、社会性、自己肯定感、論理的思考力などをカバーできるのではと考えています。</p> <p>他者と話し合う中で、賛同を得たり、批判を受けたりすることは、自身が社会の一員であると自覚し、他者のことを理解しようとしたり尊重しようとする力を育むための体験として必要です。</p> <p>お互いを尊重しあえるクラスでは、マイノリティが置き去りにされず、みんながより良いと思える方法を取ろうと模索します。</p> <p>熟考を重ねることは知識を得ることへの意欲につながり、そこをサポートするために多様な学習の機会が必要になってくると思います。</p> <p>地域とのつながりや、専門の講師からの学びや体験によって得られた知識を生かす機会が増えるとさらに学ぶことへの意欲につながります。自然と読書時間も増えるのではと思います。</p>	<p>学校では、「対話的な学び」を充実させています。</p> <p>例えば、子ども同士、子どもと教職員、子どもと地域の人が、互いの考えを伝え合ったり議論したり協働したりすることや、本を通して作者の考えに触れ、自分の考えに生かすことなどを通して、知見や考えを広げたり、深めたり、高めたりする言語活動を行う学習場面を設けるように努めています。</p> <p>ご意見は今後の参考にします。</p>
	<p>図書室の充実を希望します。</p>	<p>現在、「学校図書館リニューアル事業」として、学校図書館の蔵書を充実させたり、児童生徒が本をもっと身近に感じられる環境を作り、読書活動を推進しているところです。</p> <p>今後も計画的に読書活動の充実を図ります。</p>

番号	ご意見の内容	三次市教育委員会の考え方
4	<p data-bbox="353 220 1288 359">日本は教育に掛ける予算が諸外国よりも少なく、教育現場では決して多くない職員数で様々なカリキュラムをこなし、本来は専門性を求められるような学習内容まで担任がこなしている現状があります。</p> <p data-bbox="353 379 1288 470">まずは学校に十分な予算配分ができるよう、市からの配慮と日本政府への働きかけを進めてください。</p> <p data-bbox="353 491 1288 630">職員に余裕が生まれることでチーム学校としての力をより発揮できるようになり、一人ひとりのこどもとじっくり向き合う時間も生まれるのではないのでしょうか。</p> <p data-bbox="353 651 1288 734">それは子どもたちが幸せに向けて輝くことに必ずつながっていくだろうと信じています。</p>	<p data-bbox="1317 220 2004 359">本市でも、教職員がしっかりと児童生徒と向き合うことができるように、国の方針に基づきながら、働き方改革を推進しているところです。</p> <p data-bbox="1317 379 2004 414">ご意見は今後の参考にします。</p>

<連絡先>

部署名：三次市教育委員会 文化と学びの課

住 所：三次市十日市中二丁目 8 番 1 号

電 話：0824-62-6182

ファックス：0824-62-6288

電子メール：bunka@city.miyoshi.hiroshima.jp